

津駅東口周辺まちづくり懇話会 の取組事項について

津駅周辺道路空間の主な課題

令和4年3月24日
津駅周辺道路空間の整備方針(公表資料)

(1) 公共交通：歩行者との錯綜、バス停の点在、ロータリーの混雑

バス利用者と歩行者との錯綜

バス利用者の待ち行列と歩行者導線が錯綜。

駅周辺にバス停が点在

中長距離バスや路線バスの乗降場が東西の県道上に立地。

送迎車両による交通混雑の発生

送迎車両の多くが駐停車禁止スペースに一時停車。

ロータリー内やロータリー接続路で交通を阻害。

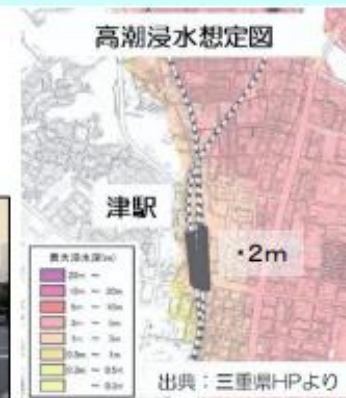


(2) 防災：高潮・津波で浸水する予測

高潮時に2m、津波時に1mの浸水が想定
避難場所や帰宅困難者の受入れ拠点整備、
鉄道の代替としてのバス交通の活用等の検討が必要。

東西連絡通路が浸水の恐れ

浸水により地下道
が利用できる可能性
がある。



(4) 東西軸：駅舎を自由に通行できない

駅東西地域の分断

津駅の東口と西口を往来する場合、鉄道定期利用者を除いて駅舎内を通行できないため、地下通路、横断歩道橋、駅南側の踏切道を利用して、迂回しながら通行する必要がある。



活気が少なく、分かりにくい



バリアフリー未対応



歩道がなく危険で、遮断時間も長い

(3) 賑わい：賑わいや滞留空間の不足

待ち合わせや集合場所が不足

「歩道空間活用のニーズ調査」では、賑わいや滞留空間についてのニーズが多かった。

Q: 拡張した歩道空間に求めることはなんですか。



社会実験を実施

歩道空間拡張に向けて県道を6車線から4車線に交通規制。
⇒交通への大きな影響なし。



社会実験(交通への影響調査)

(5) 回遊：駅周辺の案内が不足、夜は暗い

来街者への案内の不足

津駅の東口・西口ともに独立した案内板となっており、来街者には分かりにくい状況。また、中通りに入ると、夜は街灯が少なく暗い状況。安心して楽しく歩ける環境を考えていく必要がある。



東口・西口ともそれぞれ独立した案内看板



街灯が少なく暗い

社会実験の状況(速報)

第1回(9月12日)以降の主な取り組み

社会実験の状況

実施期間:10月11～22日(各日10～18時)

① 県道津停車場線

- ・キッチンカー
(ピザ、ホットサンド、クレープ等)
- ・出店店舗
(パン、サンドイッチ等)
- ・テーブル、イス設置
- ・イベント
(パトカー、消防車 等)
- ・Webアンケート



アンケート結果 等

現在、集計中

社会実験の状況(速報)

② 栄町公園

- ・出店店舗
(ご当地グルメ 等)
- ・三重短期大学生の展示
(津駅の将来像)
- ・ゆるキャライベント
- ・テーブル、イス設置
- ・現地アンケート



アンケート結果(169人回答)

- ・44%(75人)が津駅周辺(北立誠・南立誠・津西地区)以外の市内から来訪
- ・169人から192件の複数回答により24%(42件)は社会実験、23%(40件)は散歩、20%(35件)は買い物を目的に来訪
- ・169人から172件の複数回答により33%(56件)は自家用車、29%(49件)は徒歩で来訪
- ・89%(151人)が栄町公園に滞留スペース(テーブル、イス)を設けることに良い印象
- ・169人から204件の複数回答により61%(125件)は東口駅前広場に、22%(45件)は西口駅前広場に、滞留スペース(テーブル、イス)が欲しい
- ・169人から394件の複数回答により26.1%(103人)がオープンカフェやキッチンカーなどを、25.6%(101人)がイベントなどのにぎわいが津駅周辺に必要

懇話会の取組事項(研究テーマ)

	項 目	課 題	取組状況
1	駅利用者の 利便性、快適性 の向上	・バス利用者と歩行者の錯綜 ・駅周辺にバス停が点在 ・送迎車両による交通混雑の発生	・人流データ分析【国】 ・交通実態調査【国】
2	賑わいの創出	・待ち合わせや集合場所の不足	・10/11～22社会実験 県道津停車場線【県】 栄町公園【県、市、懇話会】
3	回遊性の向上	・駅東西地域の分断 ・来街者への案内の不足 ・夜は暗い	・東西自由通路 ➡ 市事業 決定【市】 (進め方の調整中)
4	まちの安全性 の維持向上	・高潮、津波で浸水する予測	・駅前広場の維持管理【市】 北工事事務所が、4日に1回 清掃等 ・周辺企業等により、美化活動(早朝)【民間】